



会 議 報 告

会 議 名	第 7 期東久留米市市民環境会議第 7 回全体会
日 時	令和 2 年 12 月 16 日（水）午後 14 時 00 分～16 時 05 分
場 所	東久留米市役所 7 階 704A 会議室
出席委員	12 名
欠席委員	1 名
事 務 局	生活環境係長、緑と公園係長、計画調整係主任、計画調整係主事
次 第	●議事 (1) 第 6 回全体会会議報告の確認 (2) 令和 3 年 3 月の環境イベントについて ①日程の確認 ②プログラム ③コロナ対策について ●報告・連絡事項 (1) 座長より報告 (2) 環境政策課からの連絡事項等 (3) 各グループからの連絡事項等 (4) その他の連絡事項等
配布資料	1) 次第 2) 【資料 1】 環境イベント「私たちの暮らしと環境」について（情報連絡会案） 【資料 2】 新型コロナ対策表（案） 【資料 3】 水とみどりグループ活動報告 【資料 4】 エコな暮らしグループ活動報告 【資料 5】 みんなでワーク活動報告 【資料 6】 会議報告 【参考資料】 市民環境会議主催イベントの企画（第 6 回全体会配布資料） 【参考資料】 武本匡弘氏について
内 容	●議事 (1) 第 6 回全体会会議報告の確認 ・各委員から了承された。 (2) 令和 3 年 3 月の環境イベントについて ・環境政策課より、前回決議された内容を確認し、そのうえで環境政策課としては、前回会議開催時点よりもコロナの感染者が増え、GoTo イベントが停止となっている。また、3 月まで限られた時間しかない中で、市民環境会議委員の全員が同じ方向性を持って行かなければ、開催は難しいと思う。それを踏まえて本日の会議を進めていただければと思う。また、議事内容について座長預かりとしないほうが良いとも思うという意見を伝えた ・情報連絡会において資料 1 を案として作成し、この中でイベント開催日時を 3 月 14 日（日）の午前 10 時～12 時を準備とし、午後 1 時～4 時までをイベントとするのはどうかの案が示された



- ・事務局より、当初は3月13日（土）も含めて施設の予約を取る予定であったが、他の用途で予約が埋まっていたので、13日の午後5時半から14日の午後5時までを予約している
- ・令和3年3月14日（日）、イベントの事前準備を14日午前10時から行い、午後1時からイベントを開催することとした
- ・プログラムの内容について、座長が開会のあいさつをし、各グループが10分ほどの持ち時間で発表し、その後1時間を講演会と30分の質疑応答。最後に座長が閉会のあいさつをする案が示された
- ・講演者や講演内容について海洋環境やプラスチックゴミに関する環境活動家である等の説明がなされた
- ・開会のあいさつは座長で良いとして、閉会のあいさつは副座長がするのはどうかという意見が出された
- ・「私たちの暮らしと環境」というテーマとイベントの目的の新しい生活様式を絡めていくことが必要
- ・イベントの目的に全員が同意しているか？目的がこれで良いのか？合意できたのか確認したい
- ・水と緑グループとしてゴミ問題に踏み込めるのか難しいと思っている。湧水や緑化の周知しかできない。これを後世に残すことを説明することになると思うが、新しい生活様式に絡めていくのは難しいと考える
- ・エコなくらしグループとしてはレジ袋の有料化、レジ袋ゼロを目指してアンケートや指定ゴミ袋をレジ袋の代わりにしてはどうかと動いていたが、コロナで活動があまりできなかった。そのような中でもプラスチック問題とは何かというところから始めているので、その内容を発表できればと考えている
- ・みんなでワークグループでは協働と学習をテーマにポストコロナ、これからの生活に協働や学習を結び付けていく提案を試みる
- ・各グループの内容について聞いていると、イベントのテーマが3つのグループで統一された内容でないように思える
- ・海だけでなく、ゴミの現状も知ってもらいたいので、分別の状況等についての説明もあると良いのではないか
- ・東久留米市の現状を知らせず、海の話に持って行くのはいかがなものかと思う
- ・市や市民の取り組みがあって川はきれいになったことを次の世代に伝えたい
- ・新しい生活様式＝ゴミだけの問題ではない
- ・講演者もゴミのみではなく、環境は多岐にわたるのでそれを市民に広めていきたい
- ・グループごとの報告会ではなく、市民環境会議として何ができるか。既存の活動にとらわれず、市民に周知し、最後に講演をすればよいのではないかと？単に発表するだけでなく、市民環境会議としてアピールすればよい
- ・(上記の意見に対して) 意見はもっともだが時間がない。地元の良いところ、悪いところに目を向け、新しい生活様式に絡めていけば良いと思う
- ・空気の問題もある。水、陸、空気の問題は東久留米にも関連している
- ・市民環境会議としての統一は難しいと思うが、各グループで展示をすれば良いと思う



- ・地元にも目を向けて聞き、名木や湧水マップ、桜の名所を周知する資料はできているので、それを使っていこうと思う
- ・モノにはプラスチックが多く、それが多く排出されている。それらをゼロにするとなると、生活の見直しを求められることを市民に周知していきたい
- ・(委員からリサイクルに関する資料が配布され) 東久留米には市のリサイクルセンターがない。イベントでリサイクル用品の回収ができたら面白いと思う
- ・コロナで来場によるイベントができなくなった場合は、ZOOM等のオンラインによる発信も考えている
- ・案として出されている講演者には、東久留米のことは講演できないと思う
- ・講演には自由学園の先生を招いてはどうかという意見が出た
- ・情報連絡会案に示した講演者は環境全体のことを講演してくれるので、内容は遜色ないと考える
- ・なぜ、案としてその講演者の名前が挙がったのか？東久留米市との関りが無いところが気になる
- ・環境全体ということで考えれば東久留米市に関係していないことはないと思う
- ・情報連絡会案で示された講演者か、他の講演者にするかは12月18日までに各委員より講演候補者を事務局に提出していただく。提出されたどの講演候補者にするかをメール等で送付するので、コロナ対策等も含め、意見等があれば12月22日までに回答していただきたい

●報告・連絡事項

(1) 座長より報告

- ・(都市計画マスタープランに関する資料が配布され) 地域懇談会に関する説明がなされた

(2) 環境政策課からの連絡事項等

- ・なし

(3) 各グループからの連絡事項等

- ・1 グループから、12月3日に行われた会議内容と11月24日に開催された「まぼろしの湧水めぐりウォーキング」の報告がなされた
- ・2 グループから、3月のイベントの中でリサイクル回収はおちゃわんのみとし、当グループが主催となり、活動団体に協力をしていただくことを案として考えているが、その方向で行うかについて1月のグループ会議で諮っていく
- ・3 グループから、環境学習に関するアンケートを12月に行い、その結果を1月にまとめ、その後、内容分析と活用方法の検討に入る

(4) その他の連絡事項等

- ・環境政策課より、会議終了後、令和元年度版かんきょう東久留米暫定版を配布した